

横井昌明議員



公共施設の老朽化対策について

問

公共施設について聞く。

(1) 市が管理する橋梁はどのくらいあるのか。

(2) 橋梁を常に点検し、補修を行っているか。

(3) 市庁舎は、I s 値、耐震性能値が0.3未満だがどのくらいの地震震度まで耐えることができるのか。

(4) 掲示等で知らせるべきではないか。

答

土木課長

耐震性も考慮した新庁舎整備が必要

(1) 市道にかかる橋梁の数は、現在594橋（2 m 以上を対象）ある。

(2) 15 m 以上の橋を、道路ネットワークを確保するために橋梁点検を実施して

おり、各橋梁の点検結果に基づき、計画的に修繕を行っていく。

答 総務部長

(3) I s 値が0.3未満の建物は、一般的に震度6強から震度7の大地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い。

(4) ホームページで公表していく。

問

排水路・排水樋門の管理は

海抜が低く、近年ゲリラ豪雨等の発生確率が高まる

なか、排水路整備について聞く。

(1) 市街化区域の排水路の管理は。

(2) 市街化調整区域の排水

路の管理は。
(3) 水稲作に影響しない樋門は洪水防止につながるので見直してはどうか。

廃止可能樋門について協議

答 農政課長

(1) 市街化区域の排水路は市（都市計画課）の管理である。

(2) 市街化調整区域の排水路は、それぞれの地区（孫宝土地改良区、弥富土地改良区、十四山土地改良区、鍋田土地改良区）で管理している。

(3) 弥富土地改良区管内に市街化区域の排水路には9樋門ある。水稲作に影響がなければ廃止可能な樋門があるか、管理する弥富土地改良区と協議したい。

公有財産の有効活用を

問

公有財産の活用について聞く。

(1) 普通財産の面積は。

(2) 23年度の決算数値では9万7千952㎡だが、差があるのはどうしてか。

(3) 行政改革を最初に行うのは、財産の売却ではないか。

売却に向けて調査し公表する

答 総務部長

(1) 約7万9千900㎡である。

答 総務課長

(2) 日の出小学校敷地、十四山スポーツセンターの敷地の一部、鯨ヶ地にある多目的広場敷地を普通財産から行政財産へ移した結果である。

答 総務部長

(3) 調整ができたものから、売却に向けて公表したいと考えている。